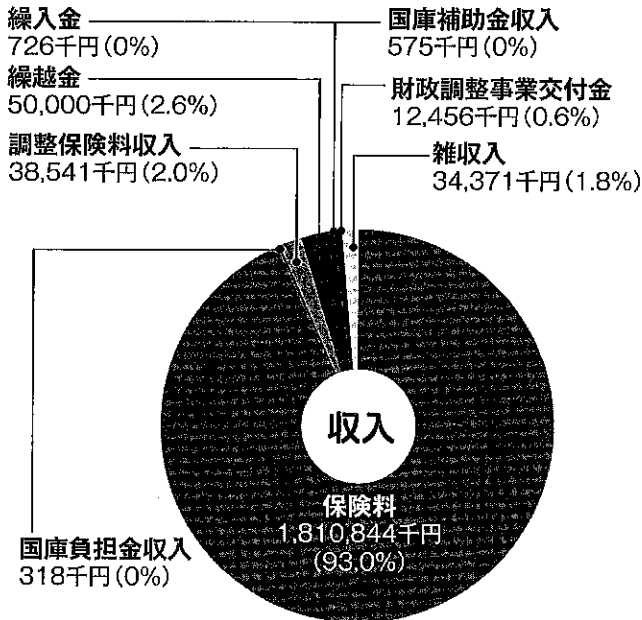
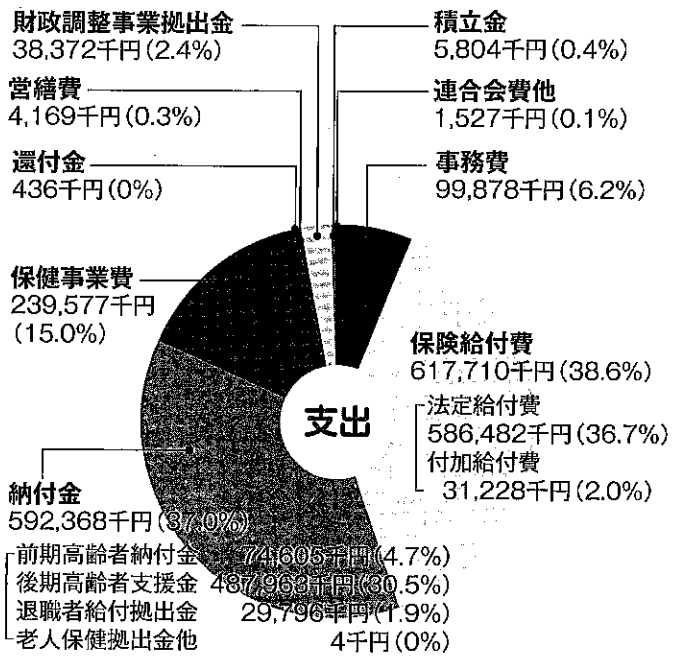


健康保険 収入・支出決算 (千円未満は四捨五入：端数処理により合計の合わない場合があります)

一般勘定 収入 合計 1,947,831千円
 經常収入合計 1,833,787千円



一般勘定 支出 合計 1,599,841千円
 經常支出合計 1,557,291千円



介護保険 収入・支出決算

(千円未満は四捨五入)

介護勘定 収入

科目	決算額 (千円)
介護保険収入	144,173
雑収入	2
合計	144,175

介護勘定 支出

科目	決算額 (千円)
介護納付金	141,758
介護保険料還付金	43
合計	141,801

決算残金処分

一般勘定

科目	決算額 (円)	備考
法定準備金	0	準備金への積み増し
別途積立金	247,864,518	(決算残金合計) - (他の残金処分金額)
次年度繰越金	100,000,000	平成30年度予算に計上
財政調整事業繰越金	124,693	
合計	347,989,211	

介護勘定

科目	決算額 (円)	備考
法定準備金	2,373,837	全額を積立
平成30年度繰越金	0	
合計	2,373,837	

収支差引額

合計の収支差引残高は3億4、79万円の黒字でした。そこから前年度からの繰越金などを除き、当年度の実質的収支だけをみた經常収支においても、2億7、649万6千円の黒字となり、5期連続の經常黒字決算を記録することができました。みなさんのご協力に感謝いたします。

しかし納付金については、多くの健保組合が今後さらに重い負担を求められる情勢になっています。現役世代の負担を軽減し国民皆保険を維持するためには、納付金の上限設定、高齢者にも応分の負担を求めるなどの高齢者医療費の負担構造改革が求められます。

健保組合としては、今後も制度改革を政府に訴え続けるとともに、日常的にできる自助努力を継続しなくてはなりません。さらなる業務の合理化に努めつつ、被保険者・被扶養者のみなさんができる限り健康でお過ごしになれるよう、ひいては多額の医療費支出を防ぐためにも、健康づくりの支援に努めてまいります。変わらぬご協力をお願い申し上げます。

一方、介護保険は、国の収納業務を健保組合が代行している制度です。29年度は、237万4千円の黒字決算となりました。